

議会報告会（H29.5開催分）に関するアンケート調査結果

■調査概要

【調査目的】

市民に開かれた身近で信頼される議会の実現に向けた取り組みの一つとして、市民の率直な意見及び要望を把握し、今後の取り組みの参考にしていくことを目的に実施。

【調査対象】

議会報告会（H29.5開催分）の参加者

- ・9会場の延べ参加者：295人（受付簿記載者）
- ・アンケート協力者：218人（協力者率：73.89%）

日	地区	場所	担当班	参加人数（前年）
5月15日	畑	みたけ会館	2	26人（19人）
	西紀北	しゃくなげ会館	1	36人（23人）
	城南	コミュニティセンター城南会館	3	27人（12人）
5月19日	岡野	岡野文化会館 （岡野コミュニティセンター）	1	34人（20人）
	味間	四季の森生涯学習センター 東館	2	29人（15人）
5月20日	雲部	雲部公民館	2	25人（10人）
5月22日	古市	古市コミュニティ消防センター	1	41人（13人）
5月23日	城北	玉水会館	3	49人（23人）
5月26日	大芋	旧大芋小学校	3	28人（22人）
合計				295人（157人）

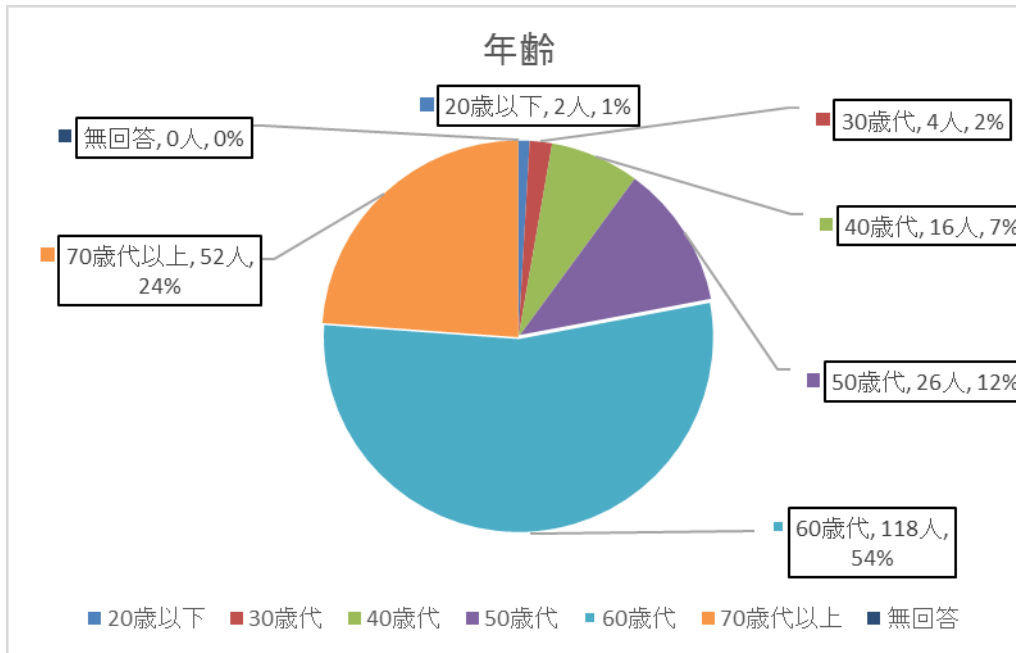
【調査項目】

1. 参加者の属性……………2～3頁
2. 参加回数及び満足度……………3～5頁
3. 議会報告会開催情報の入手状況……………5頁
4. 議会に求めること……………6頁
5. 自由記述……………7～8頁

1. 参加者の属性

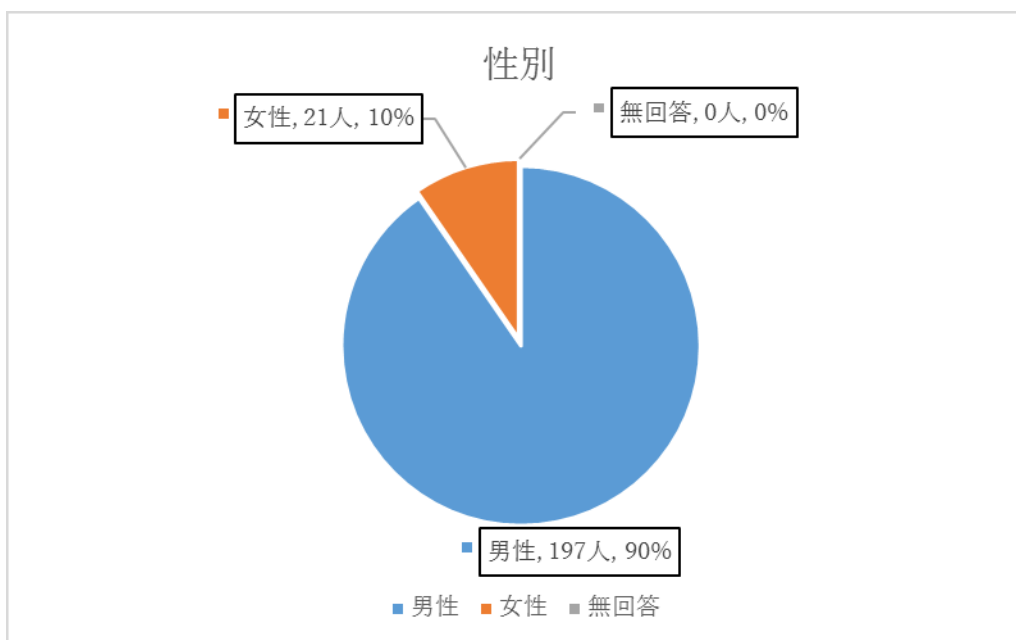
【年齢】

- ・ 60歳代が一番多く、50～70歳代以上が全体の90%（前回95%）を占めており、40代は16人（前回12人）、30歳代は4人（前回0人）、20歳以下は2人（前回1人）であった。



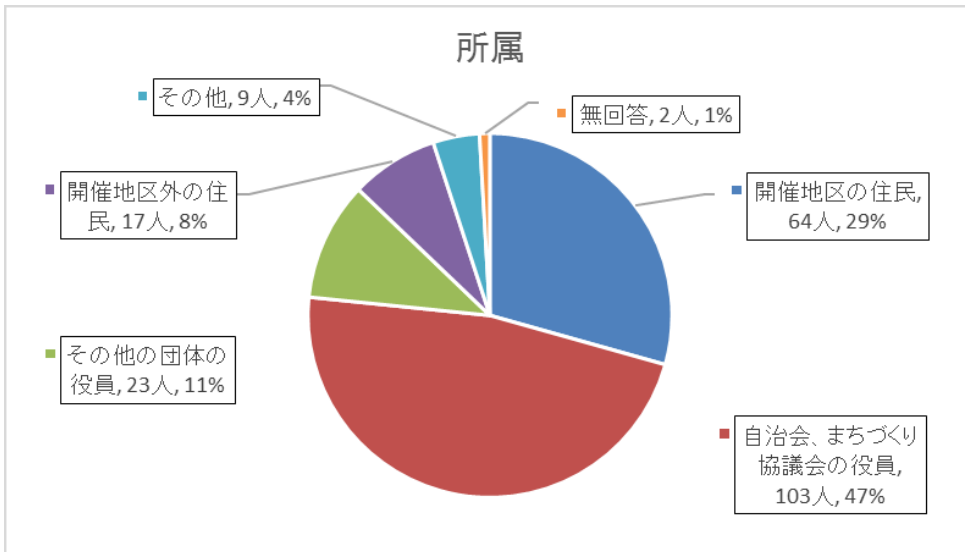
【性別】

- ・ 「男性」が90%（前回94%）を占めている。



【所属】

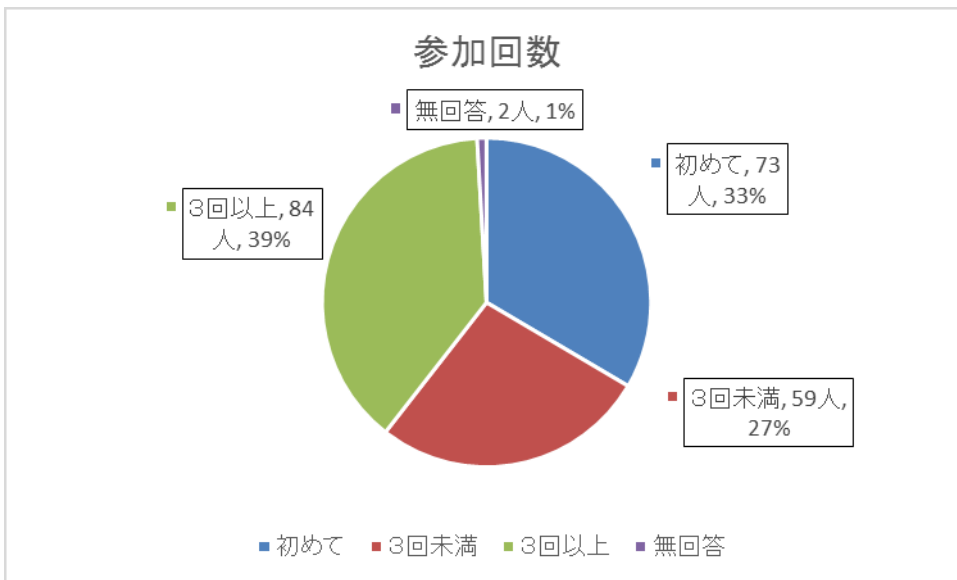
参加者の所属については、「自治会、まちづくり協議会の役員」が47%を占めている。次いで、「開催地区の住民」が29%を占めている。



2. 参加回数及び満足度

【参加回数】

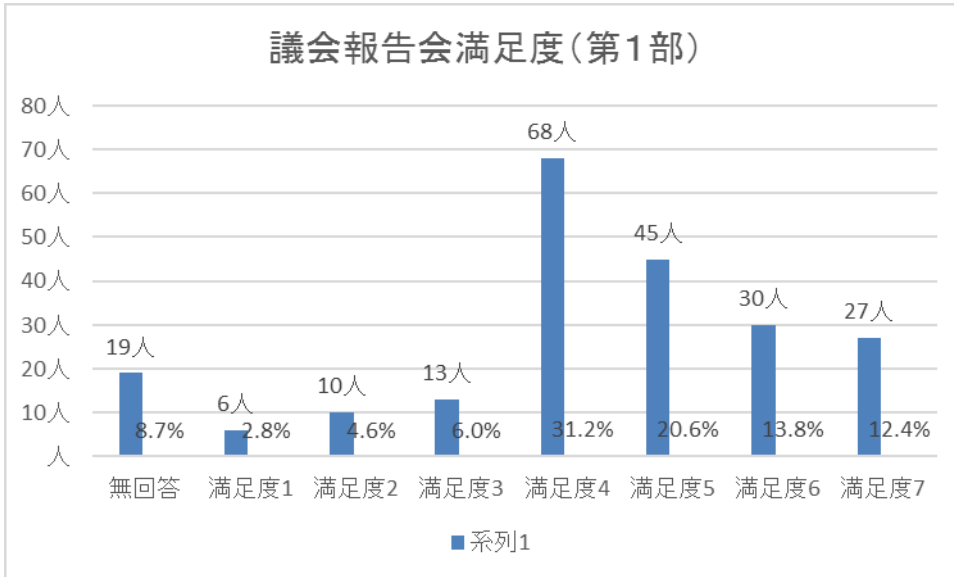
参加回数については、「3回以上」が最も高く39%を占めている。次いで、「初めて」が33%を占めている。



【直近の議会報告（第1部）の満足度】

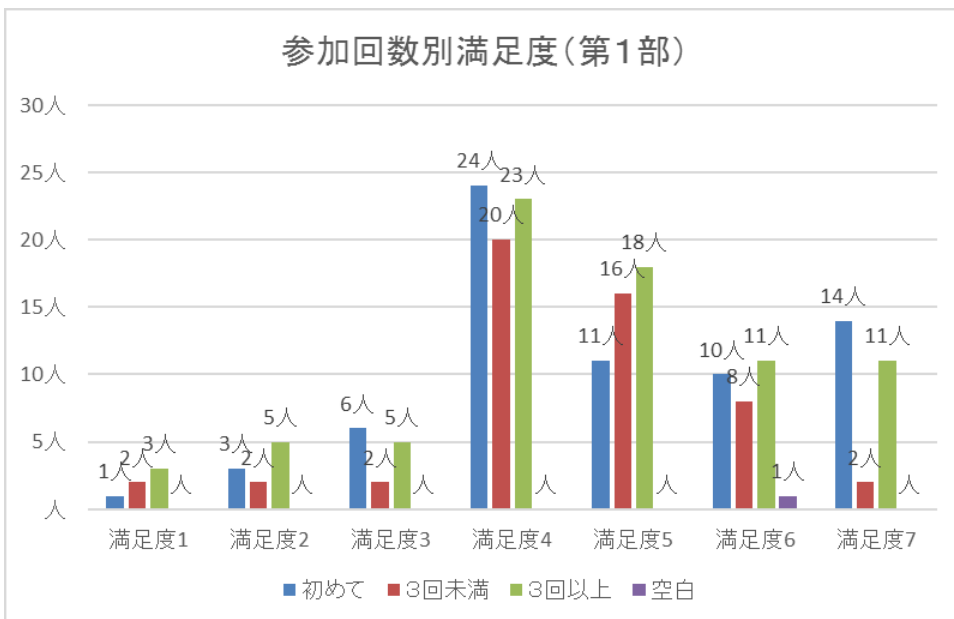
この設問では、満足度を1～7の7段階で回答していただいた。（「1」＝良くなかった、「4」＝どちらでもない、「7」＝良かった）

直近の議会報告（第1部）の満足度については、「4」が31.2%と最も高く、次いで、「5」が20.6%を占めている。満足度の平均は、4.69であった。（無回答と回答した人を母数から除いて計算）



【直近の議会報告（第1部）の参加回数別満足度】

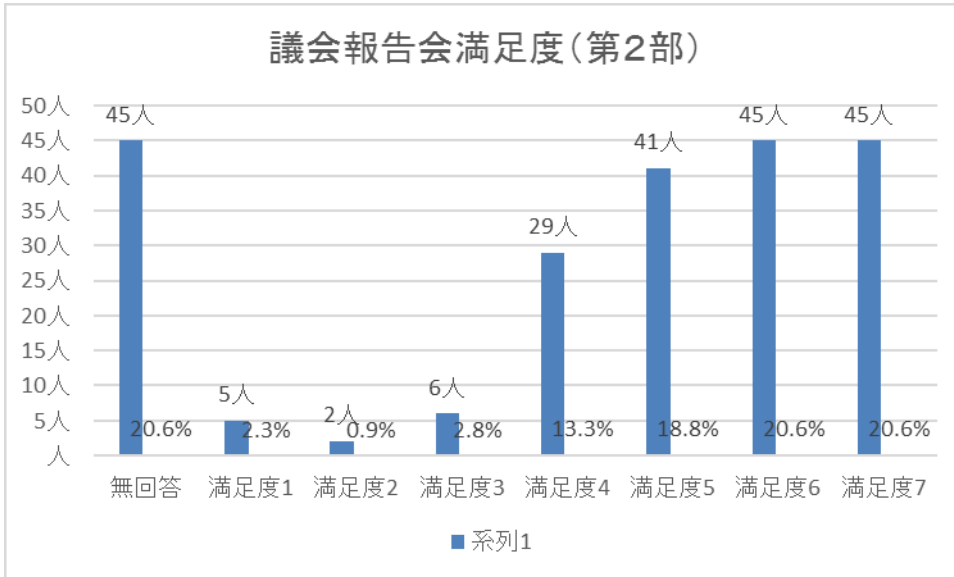
参加回数別の満足度については、参加回数別の傾向に大きな差はないと見受けられる。



【テーマを設けた意見交換（第2部）の満足度】

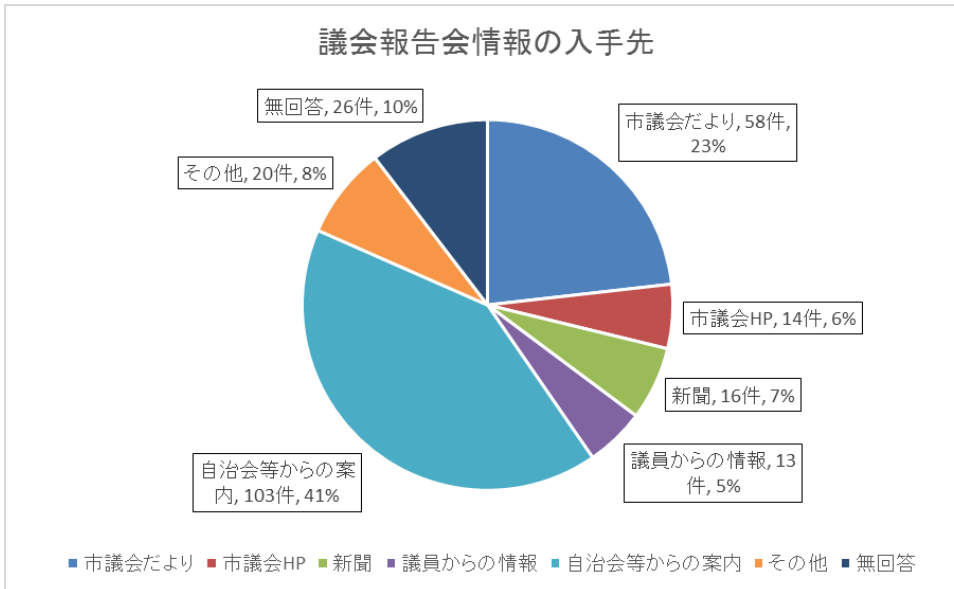
テーマを設けた意見交換の満足度（第2部）については、「7」と「6」が20.6%と最も高く、次いで「5」が18.8%を占めている。満足度の平均は、5.39であった。（無回答と回答した人を母数から除いて計算）

※意見交換のテーマ：「丹波ブランドと市名について」



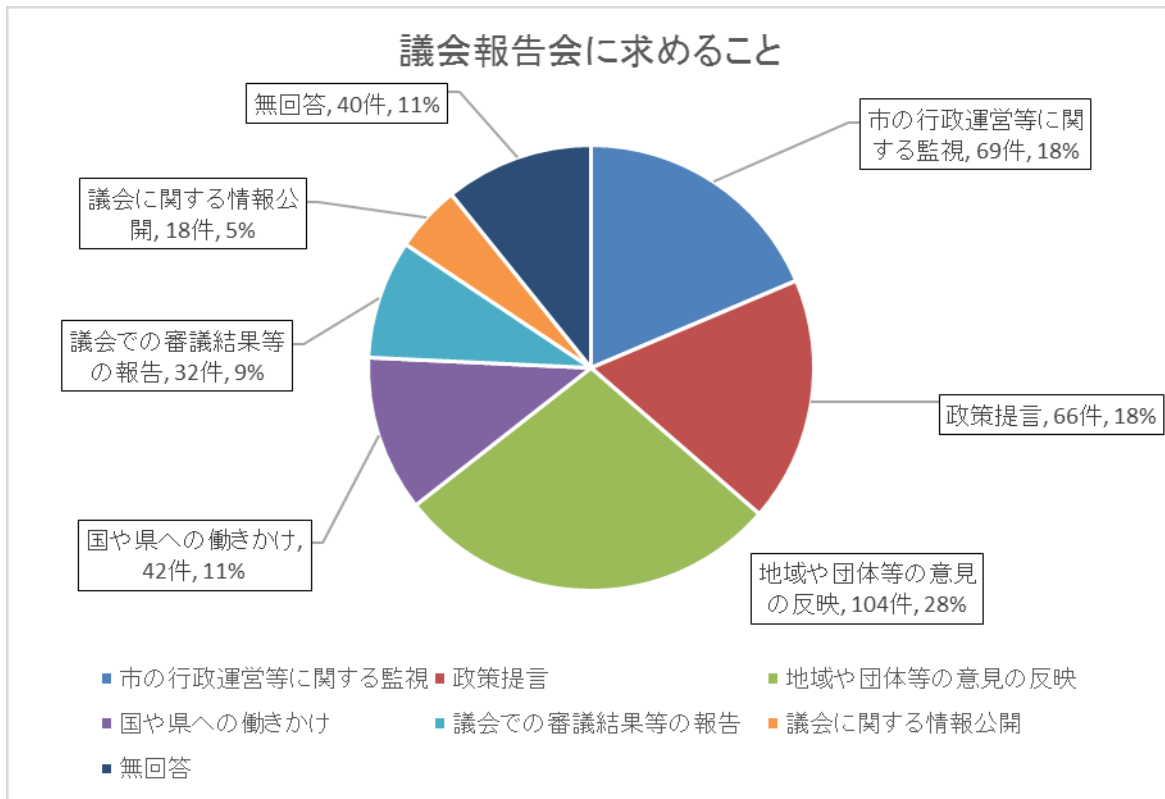
3. 議会報告会開催情報の入手状況【議会報告会開催情報の入手先（複数回答）】

・報告会の開催情報の入手については、「自治会等からの案内」が大部分を占めており、続いて「市議会だより」、「新聞」の順である。



4. 議会に求めること【議会に求めること（複数回答）】

・議会に求めることについては、「地域や団体等の意見の反映」が28%と最も高い割合となった。次いで「政策提言」、「市の行政運営等に関する監視」が18%を占めている。



5. 自由記述【ご意見・ご感想（要約・抜粋）】

（議会報告会について）

- ・今回のようにテーマを決めて行った方が充実した意見、方向性が得られると思います。
- ・テーマを先に決めておいたら、多くの意見が聞けるのではないかと。
- ・昨年までの議会報告会より良くなった。
- ・報告に関し、議会及び議員が取り組んだ内容の詳細な説明が必要ではないかと。
- ・意見交換に関し、議員と住民の積極的な意見交換が出来るようにされたい。
- ・各地区に応じた報告はできないか
- ・少数派の意見にも耳を傾けてほしい。
- ・2部構成になり、市議会のイメージがよくなった
- ・意見交換に関し、地域課題に対する議会の取り組みについての報告や意見交換が必要ではないかと。

（議会に対する要望等）

- ・市の活性化のため、議会としての政策提案を望む。
- ・今後も様々な取り組みを行い、市民に身近な議会づくりに頑張ってもらいたい。
- ・政務活動費における公開の場の検討が必要である。
- ・市民の意見を市政に反映できる議会（議員）になってもらいたい。
- ・議会改革を進められていることがよくわかった。
- ・地元の意見ばかりに捉われず、篠山市全体をみて最善の方策を考えて行動してほしい。
- ・議員としての責務を果たせていると思われるのであれば、議員報酬を削減する必要はないと考える。増額することも検討されてはどうか。
- ・政策提言機能が十分発揮されていないのではないかと。
- ・予算をもっと勉強するべき。
- ・市民のことを考え、行動する議会になるよう努めてほしい。地域のイベントは勉強だと思っただけで参加するべきと考える。
- ・高齢化の課題を議会で真剣に考えてほしい
- ・何回か傍聴に行くが、参加者が少ない。市民の関心があるのか。

（市政に対する要望等）

- ・大芋地区における公共交通課題解決への取り組みは地域に任せず行政主導で進めるべき。
- ・大芋地区における小学校跡地利用の課題について、もっと行政主導で検討すべき。
- ・畑小学校跡地グラウンドがスポーツ施設になった中、ABC マラソンで篠山は有名なことから、ランニングコースの設置及びグラウンドを400mトラックにしてほしい。
- ・市職員の給与が元通りになる中、市民税も大幅に下げてもらいたい。
- ・行政からの委嘱が多すぎる。高齢化、人口減が進む中で無理がある。
- ・財政を切り詰めることばかりではよくない。

(その他)

市名変更に関して

- ・とにかく今は、「丹波篠山市」への変更を急ぐべき。篠山の誇りを保つためにも、丹波市の中の篠山地方になってはいけない。篠山市の伝統・誇りをもつためにも丹波の篠山とあるべきなので、丹波篠山市となってほしい。ぜひ、未来のために子どもたちのためにも丹波篠山市となることを望む。
- ・市名の変更をお願いします。
- ・「丹波篠山市」市名変更を希望する。
- ・市名変更については、もっと一般市民の意見を聞いた方がよいのではないか。
- ・市名変更に関する決定プロセスが市民にわかり、かつ納得できるように進めていただきたい。
- ・6,000万円だけでなく、もっと予算（3倍、4倍）をかけて、改名後もPRを続けていかないといけない。篠山市民に誇りをもって、自らがそれぞれにPRしないと他人任せではいけない。改名だけでは反対である。
- ・市名についても大切であろう。それぞれの層（商工会、農協、JC）によって、考え・思いが異なると思うが、篠山市が生まれたとき、みんな考えて作った「篠山市」である。今、篠山市（市行政）で何が課題かを検討することが重要ではないか。
- ・市名変更は慎重にするべきである。